

退官教授紹介

農学部教授堀内貞治先生は、本年3月31日をもって定年退職されました。

先生は、昭和28年東京大学農学部獣医学科を御卒業になり、農林省(現・農林水産省)家畜衛生試験場に入られ、鶏病支場長、研究部長を歴任された後、昭和57年10月大阪府立大学農学部家畜病理学講座の教授に就任されました。

先生の御研究は鶏病、特に鶏感染症の病理学的研究であります。先生が編集されました「鶏病診断」(家の光協会出版)は644頁にのぼる圧巻で、鶏の病気に多少とも関係したものは必見する座右の書であります。

学会活動としては、昭和45年より日本獣医

学会理事、49年より鶏病研究会理事、61年より同理事長を勤められ、学会の発展に大きく寄与しておられます。

先生はこれまで、東京大学、東京農工大学、日本獣医畜産大学および岐阜大学で非常勤講師を勤められるなど、学外での研究・教育活動でも大きな貢献をされてきました。

キャンパス内では、学科内外を問わず、教職員・学生諸氏を相手にテニスをされること屢々、また週末や連休には魚釣りや堂島川でのレガッタ、更には堺市内は勿論のこと大阪市内や泉北地域の殆どはサイクリングで探索ずみと聞くと、先生の健脚はやはり本物と言えましょう。

御退職後も御健康で且つ後輩へのアドバイザーとして活躍されるよう期待します。

(荒川記)

大阪府立大学学術交流会館御案内

第2号でご紹介しましたように、大阪府立大学学術交流会館は、日本建築業協会の第30回建築業協会賞(通称BCS賞)を受賞いたしました。

同会館は府立大学創立35周年を記念して、同窓会関係者らの寄付金約4億8千万円をもととして、キャンパスのシンボルとなるよう

に、建てられたものです。キャンパスの緑との調和を考慮し、外壁をカーブさせたり、木をイメージした四角錐の屋根を見渡せるように工夫がこらされています。

同会館が学術交流のための場として、皆様方に広く利用され、大いに役立てて頂くために、同会館の詳細をここにご案内いたします。

建物のあらまし

- 位置：堺市百舌鳥梅町4丁804
- 構造：鉄筋コンクリート造  
地上1階 地下1階
- 面積：建築面積 1,135 m<sup>2</sup>  
延床面積 1,348 m<sup>2</sup>



1階平面図 1F



地階平面図 B1